



11月13日職員会議の後、今年6回目の特別支援教育研修がありました。

最初に「朝からイライラして泣きながら登校してきた子どもがいます」という講師の問いかけがありました。職員から「“どうしたの”と声をかける」「静かな場所で落ち着かせる」などの子どもの思いを聴くという答えを受けて、講師の先生から支援のためのアセスメントの大切さや次の子どもの思いを聴くポイントを学びました。

- ① 日常的に子どもと対話を
(調子のよい時に話をして関係作り)
- ② 聴く(傾聴)、受け止める(共感)
(先生にわかってもらおうと行動が変わる)
- ③ 教師の視野を広げる
(価値観を押し付けない)
- ④ 選択肢を用意する
(具体的な場面等の質問をして会話を繋げる)
- ⑤ 書きながら聴く
(頭の中を整理し、客観的に振り返りができる)



11月14日令和7年度生徒会正副会長候補の6名による立会演説会が行われました。どの候補者の演説や質疑応答も、10月末に行った学年の立会演説会から教室訪問を経て、見違えるように成長していました。また、しっかりと候補者の言葉に耳を傾けている生徒会員の姿に新しい生徒会に対する期待を感じました。

その後の投票は、選挙管理委員会が、欠席や様々な事情で会場に来れない会員が投票できるようにと考えて「オンライン投票」を実施しました。初めての試みでしたが、委員の手際のよい運営と会員の協力により、滞りなく投票が行われました。